

問1 都市部において、大雨が降った際にマンホールの蓋が噴き出す現象が起こる背景と、その対策としての「雨庭」の役割について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. マンホールの蓋が軽量化されたことが原因であり、雨庭は植物の重みで地盤を固める役割を担う。 | 2. 急激な雨水の流入により下水管内の空気が圧縮されることが原因であり、雨庭は雨水の流入量を調節する役割を担う。 | 3. 下水管が老朽化し水圧に耐えられなくなることが原因であり、雨庭は下水管の周囲を補強する役割を担う。 | 4. 雨水による水質の悪化が下水管の腐食を招くことが原因であり、雨庭は雨水を浄化する役割を担う。 |
|---|--|---|--|

問2 日本の冬の気候において、北西の大陸側から吹き込む風がもたらす影響について、適切な説明はどれですか。 (2021年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸から乾燥したまま届くため、日本海側・太平洋側の両方に晴天をもたらす。 | 2. 南東の海側から暖かく湿った空気を運び、太平洋側に梅雨のような長雨をもたらす。 | 3. 上空を一年中西から東へ吹いているため、天気を周期的に西から東へ変化させる。 | 4. 日本海を越える際に湿気を蓄え、山脈にぶつかることによって日本海側に雪や雨を降らせる。 |
|---|---|--|---|

問3 台風が接近した際に、中心付近の気圧が低いために海面が吸い上げられたり、強い風によって海水が海岸に吹き寄せられたりすることで、海面が異常に上昇する現象を何といいますか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|--------|
| 1. 液化現象 | 2. 高潮 | 3. 津波 | 4. 火砕流 |
|---------|-------|-------|--------|

問4 冬の時期に日本海側で多くの雪が降るメカニズムについて、その背景と原因を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 赤道付近から北上する暖かく湿った空気が、冬のシベリア高気圧とぶつかることで停滞前線が形成され、雪を降らせる。 | 2. 太平洋から吹く湿った南東の季節風が、奥羽山脈を越えて日本海側に流れ込む際に、急激に冷やされて雪を降らせる。 | 3. 大陸から吹く冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。 | 4. 日本海を流れる寒流の対馬海流の影響で、シベリアから来る乾燥した風が冷やされ、平野部を中心に雪を降らせる。 |
|---|--|---|---|

問5 ある都市の月別降水量を示した資料において、富山市のように12月や1月といった冬の時期の数値が、夏場と同等以上に高く突き出ている特徴を持つ気候区分を何といいますか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 瀬戸内の気候 | 2. 日本海側の気候 | 3. 太平洋側の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|-----------|------------|------------|------------|

問6 河川が山地から平地へと流れ出る「谷口」と呼ばれる場所では、流れが急に緩やかになることで、上流から運ばれてきた土砂が堆積し、同心円状に広がる地形が形成されます。この地形の名称として正しいものはどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 台地 | 2. 扇状地 | 3. 三角州 | 4. 氾濫原 |
|-------|--------|--------|--------|

問7 阿蘇山周辺の斜面地について記述された統計資料や地形図の情報において、丸みを帯びた木の形をした地図記号と、先端が尖った木の形をした地図記号の両方が同じ地点に散らばって描かれている場合があります。このような場所の植生の状況を説明したものとして、最もふさわしいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. 広葉樹と針葉樹が混ざり合って分布している。 | 2. 果樹園の中に防風林として一部の針葉樹が植えられている。 | 3. 針葉樹の人工林が広がり、その周囲を竹林が囲んでいる。 | 4. かつては広葉樹林であったが、現在は伐採されて荒地になっている。 |
|--------------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|

問8 日本列島の各地には様々な自然災害の記憶を留める石碑がありますが、特に東北地方の三陸海岸などの「沿岸部」に多く見られる、巨大な波による被害を伝える石碑の役割や特徴について、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 過去の津波の到達地点を明示し、いざという時には高い場所へ避難するという教訓を伝えている | 2. 大雨による土砂災害から逃れるため、地盤が強い岩盤地域の範囲を住民に知らせている | 3. 台風による高潮の被害を防ぐため、堤防を設置すべき基準となる海拔を記録している | 4. 火山噴火に伴う火砕流の被害を避けるため、避難路となる道の分岐点を示している |
|--|--|---|--|

問9 地形図から読み取れる土地の傾斜や道路の形状について述べた次の文のうち、記述として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 等高線の数値が進行方向に向けて小さくなっていれば登り坂であり、道が三叉に分かれていれば十字路の交差点である。 | 2. 等高線の数値が進行方向に向けて大きくなっていれば登り坂であり、道が三叉に分かれていれば丁字形の交差点である。 | 3. 等高線の間隔が進行方向に向けて広がっていれば急な登り坂であり、道が四方に分かれていれば丁字形の交差点である。 | 4. 等高線の間隔が非常に狭くなっていれば平坦な土地であり、道が直角に交わっていれば必ず丁字形の交差点である。 |
|---|---|---|---|

問10 日本の太平洋側に位置する東京などの地域では、季節によって降水量の変化が明確に現れます。このような地域における、年間の降水量の傾向について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 1年を通して気温が高いため、季節に関係なく毎日午後には激しい雨が降る。 | 2. 年間を通じて降水量が平均しており、月ごとの変化がほとんど見られない。 | 3. 冬の時期に大陸からの湿った季節風の影響を強く受け、12月から1月の降水量が最も多くなる。 | 4. 梅雨や台風の影響を受ける6月や9月ごろに、降水量のピークが見られる。 |
|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|

問11 地形図上では、特定の施設を識別するために固有の地図記号が使用されます。例えば、鳥居の形をした記号は神社を、交差した2本の警棒を模した「×」の記号は交番を表します。では、地形図において「丸い枠の中に、開いた本のようなマーク」が描かれている記号が示す施設として正しいものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|--------|----------|
| 1. 郵便局 | 2. 書店 | 3. 図書館 | 4. 老人ホーム |
|--------|-------|--------|----------|

問12 四国や九州の太平洋側など、夏に降水量が多く冬に乾燥する「太平洋側の気候」において、夏に降水量が多くなる主な理由として正しいものを選択してください。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 標高が高いために一年を通して気温が低く、上昇気流が常に発生しやすい地形であるため | 2. 南東から吹き込む湿った季節風が山地にあたり、上昇気流が発生して雨を降らせるため | 3. 暖流である対馬海流の影響により、一年中安定して湿った空気が供給されるため | 4. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海で水分を蓄えてから山を越えるため |
|---|--|---|---|

問13 自治体が作成するハザードマップにおいて、地形図上で等高線の間隔が非常に密になっている山地周辺が危険区域に指定されている場合、特に警戒すべき自然災害とその理由の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 1. 土砂災害：等高線の間隔が狭い場所は急傾斜地であり、大雨などで地盤が緩みやすいため。 | 2. 津波：等高線の間隔が狭い場所は海岸に近く、大きな波が押し寄せやすいため。 | 3. 洪水：等高線の間隔が狭い場所は標高が低く、河川の水が溢れやすいため。 | 4. 火山の噴火：等高線の間隔が狭い場所は必ず活火山が存在し、溶岩が流出しやすいため。 |
|--|---|---------------------------------------|---|